

-----8月23日-----

今週のアウトルック(8/23～8/27)

先週は最安値更新への仕掛けと、買い戻し、個人投資家の円売りなどが交錯し、結果的にはレンジ内での動きとなった一週間でした。

今週は23日に行われる予定の菅直人首相と白川方明日銀総裁の会談に注目が集まっているようです。大方の予想としては、市場が納得する円高対策が打ち出される可能性は小さく、対策発表後に、失望感から一段の円高が進むというものが多いいようです。

ドル円は政府の対策への期待などから、85円を大きく割り込むことができないでいるようです。

今週は発表される予定の円高対策への失望感から、もう一段の円高が進む可能性が高そうですが、サプライズ的な対策が発表されれば、円高が一段落する可能性もありそうです。

対策の内容を吟味してから、動いた方が得策のように思います。

ドル円の予想レンジは83円から88円です。

ユーロ円は、円高対策の内容によっては、107.5円割れにトライする可能性が、今週も高いように思います。

今週の早い時期の107.5円を割れてしまうと、次のターゲットが100円割れあたりになってしまうことから、一気に円高が進んでしまう可能性も考慮しておく必要があります。

ユーロ円の予想レンジは100円から110円です。

ポンド円は132円あたりのサポートに支えられているようです。ここから反発する可能性よりも、抜けてしまう可能性の方が少し高いように思いますが、やはり円高対策次第なのかもしれません。

ポンド円の予想レンジは130円から135円です。

基本的には円高への流れを継続しそうですが、個人投資家を中心とした、旺盛な円売り圧力に支えられていることも確かなようです。この円売り圧力に支えられて、一度は円安の流れに変わるのか、それとも円高がもう一段進んでしまうのか、

今週が大きな分かれ目なるかもしれません。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。